



連携室便り

発行日：令和元年 12 月
取手北相馬保健医療センター
医師会病院
—医療連携室便り—
—第 39 号—

診療科紹介

緩和ケア内科

取手北相馬保健医療センター医師会病院
緩和ケア内科 工藤 洋平



寒冷の候、会員の先生方におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、当院では現在緩和ケア病棟開設に向けての準備が進んでおりますが、これに先立ちまして緩和ケア内科を開設し、不肖私が担当医を務めさせていただく運びとなりました。

緩和医療・緩和ケアは、とかく誤解されがちな分野であると思います。「がんで手の施しようがないから緩和ケアを」、「緩和の話がでたら終わり」、「緩和医療＝終末期医療」。医療者の中にもいまだにこうした印象をお持ちの方もおられるのではないのでしょうか。況や一般人においてをや。何を隠そう、私自身、心臓外科医の時は同じような認識でした。

本邦における緩和ケアは 1970 年代にその濫觴がみられますが、2007 年にがん対策基本法が施行され、これに基づくがん対策推進基本計画が策定されたことから成長期を迎えました。このような背景があるため「緩和ケアはがんのためのもの」との認識が一般に広まったものと考えられます。しかし、WHO は「緩和ケアとは、生命を脅かす病に関連する問題に直面している患者とその家族の QOL を、痛みやその他の身体的・心理社会的・スピリチュアルな問題を早期に見出し的確に評価を行い対応することで、苦痛を予防し和らげることを通して向上させるアプローチである」と定義しており、対象疾患をがんに限定してはおりません。また、最近では可及的早期に緩和ケア介入を行うことが望ましいものとされております。終末期医療は緩和ケアの一部ではありますが、緩和ケア自体はより広範囲の疾患のより長い期間にわたって提供されることが理想ではないかと思えます。

確かに、緩和ケアは病気を治す医療ではありません。しかし WHO の定義にもあるように全人的苦痛(=トータルペイン)に対処することにより、いまそこにある生をより彩りのあるものにすることができる医療であると考えます。

もちろん、これは私一人や当院内部のみで行えるものではありません。この地域でよりよい緩和医療が提供できるよう、ご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。対象症例のご紹介お待ちしております。



緩和ケア外来

緩和ケア外来の予約、緩和ケアに関するご相談を受付けております。

診療時間

火曜日・水曜日 14:00～16:00

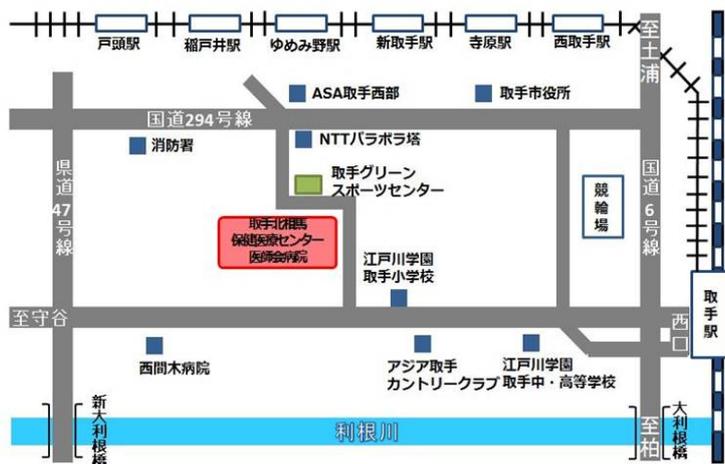
1回1時間の時間をとって、ゆっくりお話しをうかがいます。
初診 再診とも予約制となっております。

緩和ケア内科外来予約

医療連携室 TEL 0297-78-6183 (直通)
FAX 0297-78-6184



交通アクセス



取手医師病院の理念 Heart (心・優しさ)

- H - 優しさに溢れた医療 (Hospitality)
- E - 迅速で効率的な医療 (Efficient)
- A - 向学心に満ちた医療 (Academic)
- R - 充実した地域医療 (Regional)
- T - 信頼感のある医療 (Trustful)

優しく効率的で向学心に満ちた地域医療で信頼を得ることをめざします。

編集：医療連携室

TEL:0297-78-6183(直通)

TEL:0297-78-6111(代表)

FAX:0297-78-6184

